

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	久米島町	代表者名	町長 桃原秀雄
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	企画財政課
担当者役職	主任	担当者氏名	仲宗根 結花
住所	901-3193 沖縄県久米島町字比嘉2870		
連絡先電話番号	098-985-7122		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	自治体DX推進事業
概要	R5年度に策定した久米島町DX計画の取組を進めるため、職員のDXの必要性の理解、機運醸成、自ら変革するという意識付けを図りたいです。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月11日	講演(実地)	9時00分	16時00分	60
				活動時間（分）	360
2-2. 派遣場所	会場名	久米島町役場2F第3・4会議室	最寄駅	仲里庁舎前	
	所在地	沖縄県島尻郡久米島町字比嘉2870	最寄駅からの交通手段	バスまたはタクシー	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	受講した職員が「職員のDXの必要性の理解、機運醸成、自ら変革するという意識付け」を3時間研修で身につくような内容にしてほしいという難しい町の要望に対してきちんと応えてくださりました。管理職は、①ほがらかな表情で、②報告連絡相談の必要なタイミングを開示し、③企画などを論理的に総合評価し合意するプロセスを大事にしながら部下を教育していくといった、これまで受けたことのない研修内容で、新鮮だったこと、業務の在り方を改めるきっかけになる研修だったと思います。参加者から上司のために仕事するという発想が無かったと驚愕されている職員もおりました。
アドバイザーへの要望事項	今回の研修は機運醸成、意識の変革、企画力がメインでした。いくつかの手法を講義いただきましたが、普段経験のない手法であることから習得するには反復練習、成功体験が必要です。今回学んだことを活かすためにも今後もフォローアップ研修をお願いできればと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	50人
	属性	自治体職員	住民
	人数	50	
		企業・団体	その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）		
	R5年度に窓口を行う福祉課・税務課・町民課職員を対象に自治体フロントヤード改革に関する意向調査を実施したところ、多くの職員が次年度(R6年度)は早い将来的にはやるべきという回答でしたが、どういった体制でどういう風に進めていくのか漠然としていることから、他人任せではなく職員1人1人が住民サービス向上ならびに業務負担軽減するために自ら改革していくんだという意識付けと取り組み方法を研修を通して学び、職員全体のスキルアップを図る必要があります。		
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）		
	研修を受講することで、職員や組織の考え方に変化をもたらし、誰もが自らの業務の課題解決や目標達成に向かってどのように進めていくかを自主的に考え、実現する力を身に付けることを目標とし、その成果として町民サービスの向上に関する取り組み(電子窓口開設で町民の利便性向上等)や業務負担軽減(業務フローの簡略化)を実現していきたいです。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	企画を実現するための手法について、上司をよく知ること、期待値はどこか、方向性が違う上司を納得させるためには、効果分析表による優先順位の決定、企画は早い段階で実践してみるなど様々な考え方、手法を教えてくださいました。また、ところどころでグループワークを実施し、チームで目標を達成するための役割や達成感を体験することができました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	受講者のアンケート集計中ではありますが、多くの職員から「満足」と回答いただいています。研修の目標「職員や組織の考え方に変化をもたらし、誰もが自らの業務の課題解決や目標達成に向かってどのように進めていくかを自主的に考え、実現する力を身に付けること」のうち、個人の変革が必要であることは認知できたと思います。身に付けるまで持つていくには反復練習や成功体験が必要だと思います。この研修を今後の業務に活かすためにも、継続してステップアップできるような研修を企画していく必要があります。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 研修によって職員の考え方に変化をもたらすきっかけが作れたと思います。成果目標達成に向けて今後は実践につながるようフォローアップなどを継続的に支援していきたいと思っています。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修受講後のアンケートで一部の職員からより具体的なDX研修を求める意見もあったことから、あらゆる職員のレベルにあった研修プログラムを企画したいと思っています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケート回答依頼期間中のため、現段階では最終結果が出ていませんが、多くの職員が満足と回答しております。研修で習得した手法が活かせるよう働きかけをしたいと思っています。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 研修の中でも紹介がありましたスマホ行政を今年度中に運用開始する予定です。業務を変革し、町民サービス向上ならびに業務量軽減に意欲的な職員を中心に電子窓口開設を進め、DXリーダーの育成を図り横展開して風土改革を進めていきます。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	町民が窓口に行かなくても行政サービスを受けられると言った利便性向上を実現する行政手続きの電子手続き(10個以上)を開発し、DXに対する士気を高め、横展開を行うためDX推進リーダーの発掘・育成(5人程度)を目指します。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

